

HULFT Squareアプリケーション仕様書

EDI-Master Cloud

1.0 版 | 2024 年 8 月 22 日

EDI-Master Cloud向けHULFT Squareアプリケーション Overview

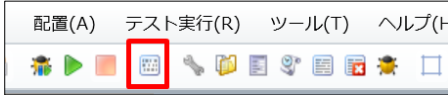
本アプリケーションについて

本アプリケーションはEDI-Master Cloudとのデータ連携を行うためのスクリプトのサンプルをアプリケーション化したものとなる

機能についてはアプリケーション概要ページを参照

コピー後、状況に合わせてカスタマイズすることを推奨する

コピー後、編集なしでスクリプトを実行する場合は、実行前にスクリプトのビルド（デザイナー画面赤枠）を実施する



INDEX

本アプリケーションについて

- ・アプリケーション概要

スクリプト設定手順

- ・設定フロー
- ・コネクション設定(EDI-Master Cloud 全銀TCP/IP通信側)
- ・コネクション設定(HULFT Square側)
- ・スクリプト利用上注意

スクリプト詳細

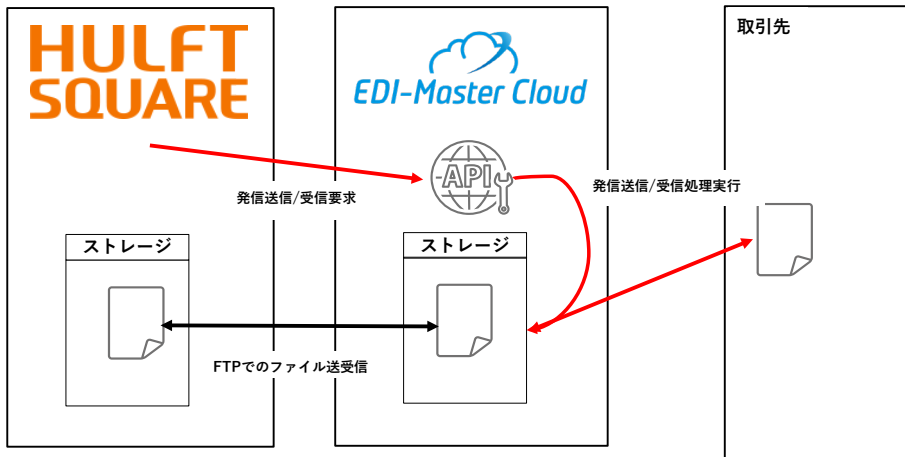
- ・スクリプト設定(EDI-Master Cloud_send_zgtcp)
- ・スクリプト設定(EDI-Master Cloud_recieve_zgtcp)

**EDI-Master Cloud 向けHULFT Squareアプリケーション
アプリケーション概要**

1.動作イメージ

本アプリケーションは、下図のようにEDI-Master Cloudと組み合わせて動作することを想定している
 本アプリケーションをインストールすることで、下記機能を持ったスクリプトのサンプルを使用することができる

- ・EDI-Master Cloud 全銀TCP/IP通信への発信送信
- ・EDI-Master Cloud 全銀TCP/IP通信への発信受信



2.各機能とスクリプト

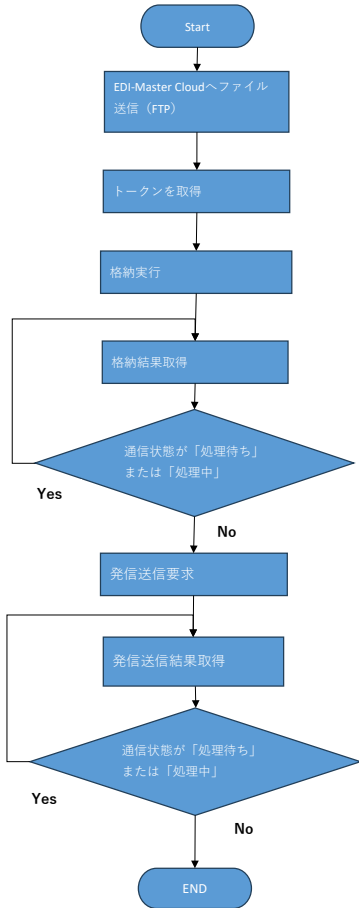
機能A：EDI-Master Cloud 全銀TCP/IP通信発信送信

機能概要：HULFT SquareからのEDI-Master Cloudへのファイル送信とEDI-Master Cloudから取引先へのファイル送信要求を発行する。

使用スクリプト一覧：

ID	スクリプト名	対応機能
A-1	EDI-Master Cloud_send_zgtcp	全銀TCP/IP通信でファイルを取引先へ発信送信する

A-1.EDI-Master Cloud_send_zgtcp



前提条件	<ul style="list-style-type: none"> ・ EDI-Master Cloud側の接続設定を行い、SFTPサービスとEDI-Master Cloud 全銀TCP/IP通信を利用可能にする ・ HULFT SquareからEDI-Master Cloud 全銀TCP/IP通信へ接続するための設定を作成する ・ HULFT Squareから基幹連携サービス (SFTP) へ接続するための設定を作成する ・ HULFT SquareのストレージへEDI-Master Cloudへ送信するファイルを用意しておく
入力データ	取引先への送信ファイル (例:send.txt)
出力データ	—
エラー処理	<ul style="list-style-type: none"> ・ HULFT SquareのRESTコネクター、FTPコネクターのエラー処理に準じ、エラー検知時には処理が途中停止する。 https://www.hulft.com/help/ja-jp/HULFTSquare/Content/CN_MPP/CN_message/msg_REST.htm https://www.hulft.com/help/ja-jp/HULFTSquare/Content/CN_MPP/CN_message/msg_FTP.htm

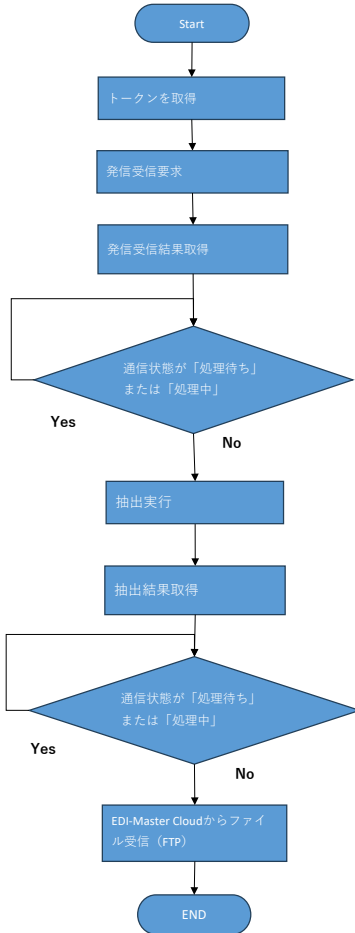
機能B：EDI-Master Cloud 全銀TCP/IP通信発信受信

機能概要：取引先からEDI-Master Cloud へのファイル受信要求を発行し、EDI-Master Cloudへ受信が完了したファイルをHULFT Squareへ連携

使用スクリプト一覧：

ID	スクリプト名	対応機能
B-1	EDI-Master Cloud_recieve_zgtcp	全銀TCP/IP通信でファイルを取引先から発信受信する

B-1.EDI-Master Cloud_recieve_zgtcp



前提条件	<ul style="list-style-type: none"> ・ HULFT Squareのストレージへ受信用のパスを設定しておく ・ EDI-Master Cloud側に抽出可能（受信済）なデータを用意しておく ・ HULFT SquareからEDI-Master Cloud 全銀TCP/IP通信へ接続するための設定を作成する ・ HULFT Squareから基幹連携サービス（SFTP）へ接続するための設定を作成する ・ EDI-Master Cloud側の接続設定を行い、SFTPサービスとEDI-Master Cloud 全銀TCP/IP通信を利用可能にする
入力データ	—
出力データ	取引先からの受信ファイル（例:recieve.txt）
エラー処理	<ul style="list-style-type: none"> ・ HULFT SquareのRESTコネクタ、FTPコネクタのエラー処理に準じ、エラー検知時には処理が途中停止する。 <p> https://www.hulft.com/help/ja-jp/HULFTSquare/Content/CN_MPP/CN_message/msg_REST.htm https://www.hulft.com/help/ja-jp/HULFTSquare/Content/CN_MPP/CN_message/msg_FTP.htm </p>

EDI-Master Cloud 向けHULFT Squareアプリケーション
設定フロー

本アプリケーションの設定フロー

1. [コネクション設定(EDI-Master Cloud側)]に沿って設定を行う
 - ・EDI-Master Cloud側の接続設定を行い、SFTPサービスとEDI-Master Cloud 全銀TCP/IP通信を利用可能にする
2. [コネクション設定(HULFT_Square側)]に沿って設定を行う
 - ・EDI-Master Cloud 全銀TCP/IP通信へ接続するための設定を作成する
 - ・HULFT SquareからEDI-Master Cloud 基幹連携サービス (SFTP) へ接続するための設定を作成する
3. [スクリプト利用上注意]を参照し、スクリプトをセットアップして利用する

**EDI-Master Cloud 向けHULFT Squareアプリケーション
コネクション設定(EDI-Master Cloud 側)**

コネクション設定

HULFT SquareとEDI-Master Cloud 全銀TCP/IP通信の接続に必要な設定は以下の通り

EDI-Master Cloud 全銀TCP/IP通信側設定(前提条件)

前提条件として「EDI-Master Cloud」の利用ができること

※トライアルテナントの契約でも可能

以下のマニュアルを参照して設定を実施する。

※マニュアルは契約者のみに解放されているため、タイトルのみ記載

- ・ユーザーの登録
『全体編』…トークン取得時の認証にユーザ情報が必要
- ・SFTPサービス利用の設定
『基幹連携サービス編』…認証用秘密鍵ファイルの作成が必要
- ・全銀TCP/IP通信の設定
『通信サービス編』…「接続先定義」、「ファイル定義」の設定が必要

**EDI-Master Cloud 向けHULFT Squareアプリケーション
コネクション設定(HULFT Square側)**

コネクション設定

HULFT SquareとEDI-Master Cloud の接続に必要な設定は以下の通り

HULFT Square側設定

ファイルを送受信するための設定を作成する

ファイル送受信用コネクション設定

コネクタータイプ	FTP接続
名前	任意
ワークスペース	任意
説明	任意
ホスト名	sftp.edimaster-cloud.jp
プロファイル	任意
ポート番号	22
anonymousを使用する	FALSE
ユーザ名	EDI-Master Cloudテナント ID_ユーザーID ※テナント IDとユーザーIDをアンダースコア () で連結
パスワード	EDI-Master Cloudのユーザ設定で登録したパスワード
データ転送モード	PASV
エンコード	UTF-8
コネクションタイムアウト	30000
セキュリティタイプ	SFTP
秘密鍵	EDI-Master Cloudで作成した秘密鍵ファイル

APIリクエストを送信するための設定を作成する

リクエスト用コネクション設定

コネクタータイプ	REST接続
名前	任意
ワークスペース	任意
説明	任意
URL設定	https://edimaster-cloud.jp/api
プロファイル	任意

EDI-Master Cloud 向けHULFT Squareアプリケーション スクリプト利用上注意

利用について

- ・本スクリプトはHULFT SquareのFTPコネクタ、RESTコネクタの使用を前提とする
- ・想定と異なる出力結果、もしくは異常終了した場合、HULFT Squareの実行ログを参照しエラーを確認する必要がある
(後述の「エラーログの収集について」を参照)

エラーのログ収集について

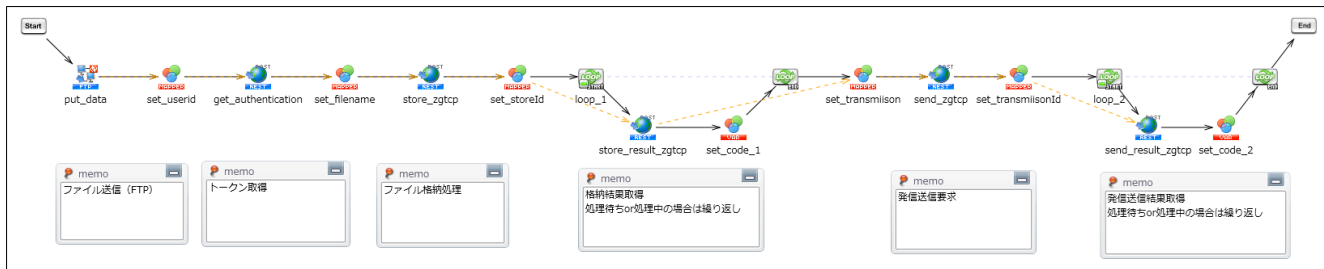
HULFT Squareの実行ログは以下から取得できる

[モニタリング]>[サービス]>[HULFT Integrate]より、該当ログのメニューから[エクスポート]



**EDI-Master Cloud 向けHULFT Squareアプリケーション
スクリプト設定(EDI-Master Cloud_send_zgtcp)**

スクリプト全体図



HULFT SquareからEDI-Master Cloud へファイル送信後、EDI-Master Cloudへ取り込む指示（格納）を出した後に取引先へのファイル送信を実行します。

* 以下設定のオレンジ色の設定箇所は、スクリプトをインストールするだけでは設定されないため、スクリプトをインストール後に手動で入力する必要がある

スクリプト基本設定

ワークスペース	任意
格納プロジェクト名	EDI-Master Cloud
スクリプト名	EDI-Master Cloud_send_zgtcp


外部システムから取り込む値/ファイル

なし	なし
----	----


スクリプト変数



LC_tenantid	EDI-Master Cloud のテナントIDの格納先、初期値として設定
LC_userid	EDI-Master Cloud のユーザーIDの格納先、初期値として設定
LC_password	EDI-Master Cloud のユーザー認証用パスワード、初期値として設定
LC_connectionName	プロトコル=「全銀TCP/IP」、発信/着信=「発信」の接続先定義名を初期値として設定
LC_fileNames	上記接続先の「ファイル一覧」より、送信/受信=「送信」のファイル定義名を初期値として設定
LC_inputFolderPath	「ファイル定義」より、格納ファイルパスを初期値として設定
LC_inputFileName	「ファイル定義」より、格納ファイル名を初期値として設定
L_idToken	取得したアクセストークンの格納先
L_code	通信処理状態コード
LC_localPath	HULFT Squareの格納ファイルパスを設定、初期値として設定


スクリプト詳細設定


コンポーネント名		
put_data		
		
コンポーネント概要		
HULFT SquareからEDI-Master Cloud へファイル送信		
必須設定		
接続先	[ファイル送受信用コネクション] *[コネクション設定(HULFT Square側)]参照	
リモートパス	スクリプト変数[LC_inputFolderPath]スクリプト変数[LC_inputFileName]	
ローカルパス	スクリプト変数[LC_localPath]	
データタイプ	BYNARY	


コンポーネント名		
set_user_id		
		
コンポーネント概要		
ユーザーID、パスワード、テナントIDをマッピング		
HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
スクリプト変数[LC_tenantId]	単純移送	get_authentication/root/tenantId
スクリプト変数[LC_userId]	単純移送	get_authentication/root/userId
スクリプト変数[LC_password]	単純移送	get_authentication/root/password


コンポーネント名		
get_authentication		
		
コンポーネント概要		
認証用トークンを取得		
必須設定		
接続先	[APIリクエスト用コネクション] *[コネクション設定(HULFT Square側)]参照	
パス	/operation/auth	
エンコード	UTF-8	
クエリパラメータ	名前	値
リクエスト設定		
データ出力先	データ	
データ形式	JSON	
リクエストテンプレート	<pre>{ "tenantId": "tenantId", "userId": "userId", "password": "password" }</pre>	
レスポンス設定		
データ出力先	データ	
データ形式	JSON	
レスポンステンプレート	<pre>{ "tenantId": "テナントID", "tenantName": "テナント名", "userId": "ユーザID", "userName": "ユーザ名", "group": "グループ", "tokens": { "IdToken": "IDトークン", "RefreshToken": "RefreshToken", "ExpiresIn": 3600 } }</pre>	
レスポンスのステータスコードが4XX、5XXの場合エラーにする	有効	
ヘッダ設定		
リクエストヘッダ	名前	値
	Content-Type	application/json
	X-Tenant-Id	スクリプト変数[LC_tenantId]

コンポーネント名		
set_filename		
		
コンポーネント概要		
接続先定義、ファイル定義をマッピング		
HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
単一行文字列定数	object	store_zgtcp/root/type
単一行文字列定数	array	store_zgtcp/root/transactions/type
単一行文字列定数	object	store_zgtcp/root/transactions/element/type
スクリプト変数[LC_connectionName]	単純移送	store_zgtcp/root/connectionName
スクリプト変数[LC_fileNames]	単純移送	store_zgtcp/root/fileNames
スクリプト変数[LC_inputFolderPath]	単純移送	store_zgtcp/root/inputFolderPath
スクリプト変数[LC_inputFileName]	単純移送	store_zgtcp/root/inputFileName
get_authentication/root/idToken	単純移送	スクリプト変数[L_idToken]
コンポーネント名		
store_zgtcp		
		
コンポーネント概要		
送信データとして確定したファイルを、『EDI-Master Cloud』へ格納		
必須設定		
接続先	[APIリクエスト用コネクション] *[コネクション設定(HULFT Square側)]参照	
パス	/zgtcp/transactions/store	
エンコード	UTF-8	
クエリパラメータ	名前	値
リクエスト設定		
データ出力先	データ	
データ形式	JSON	
リクエストテンプレート	<pre>{ "transactions": [{ "connectionName": "string", "fileName": "string", "inputFolderPath": "string", "inputFileName": "string" }] }</pre>	
レスポンス設定		
データ出力先	データ	
データ形式	JSON	
レスポンステンプレート	<pre>{ "code": 0, "message": "string", "succeeded": [{ "storeId": "string", "transactionId": "string", "connectionName": "string", "fileName": "string", "inputFolderPath": "string", "inputFileName": "string" }], "failed": [{ "connectionName": "string", "fileName": "string", "inputFolderPath": "string", "inputFileName": "string", "code": 0, "message": "string" }] }</pre>	
レスポンスのステータスコードが4XX、5XXの場合エラーにする	有効	
ヘッダ設定		
リクエストヘッダ	名前	値
	Content-Type	application/json
	X-Tenant-Id	スクリプト変数[LC_tenantId]
	Authorization	スクリプト変数[L_idToken]


コンポーネント名		
set_storeId		
		
コンポーネント概要		
格納IDをマッピング		
HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
単一行文字列定数	array	store_result_zgtcp/root/storelds/type
store_zgtcp/root/succeeded/element/storeId	単純移送	store_result_zgtcp/root/storelds/element
単一行文字列定数	20	スクリプト変数[L_code]


コンポーネント名		
loop1		
		
コンポーネント概要		
通信処理状態コードが「処理待ち」または「処理中」の場合繰り返し		
必須設定		
条件一覧	スクリプト変数[L_code]が「10」と等しい	
条件一覧	スクリプト変数[L_code]が「20」と等しい	
条件式	スクリプト変数[L_code]が「10」と等しい または スクリプト変数[L_code]が「20」と等しい	


コンポーネント名		
store_result_zgtcp		
		
コンポーネント概要		
格納結果を取得		
必須設定		
接続先	[APIリクエスト用コネクション] *[コネクション設定(HULFT Square側)]参照	
パス	/zgtcp/transactions/store/results	
エンコード	UTF-8	
クエリパラメータ	名前	値
リクエスト設定		
データ出力先	データ	
データ形式	JSON	
リクエストテンプレート	<pre>{ "storelds": ["string"] }</pre>	
レスポンス設定		
データ出力先	データ	
データ形式	JSON	
レスポンステンプレート	<pre>{ "code": 0, "message": "string", "succeeded": [{ "storeld": "string", "transactionId": "string", "connectionId": "string", "connectionName": "string", "fileld": "string", "fileName": "string", "code": 0, "message": "string", "startTime": "string", "endTime": "string" }], "failed": [{ "storeld": "string", "message": "string" }] }</pre>	
レスポンスのステータスコードが4XX、5XXの場合エラーにする	有効	
ヘッダ設定		
リクエストヘッダ	名前	値
	Content-Type	application/json
	X-Tenant-Id	スクリプト変数[LC_tenantId]
	Authorization	スクリプト変数[L_idToken]


コンポーネント名		
set_code1		
 set_code_1		
コンポーネント概要		
通信処理状態コードをスクリプト変数[L_code]へセット		
HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
store_result_zgtcp/root/code	単純移送	スクリプト変数[L_code]


コンポーネント名		
set_transmisson		
 set_transmisson		
コンポーネント概要		
発信送信対象とするトランザクションをマッピング		
HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
単一行文字列定数	array	send_zgtcp/root/transmissons/type
単一行文字列定数	object	send_zgtcp/root/transmissons/element/type
store_result_zgtcp/root/succeeded/element/connectionName	単純移送	send_zgtcp/root/transmissons/element/connectionName
単一行文字列定数	array	send_zgtcp/root/transmissons/element/fileNames/type
store_result_zgtcp/root/succeeded/element/fileName	単純移送	send_zgtcp/root/transmissons/element/fileNames/element
単一行文字列定数	boolean	send_zgtcp/root/transmissons/element/resend/type

コンポーネント名		
send_zgtcp		
		
コンポーネント概要		
全銀TCP/IPの発信送信処理を要求		
必須設定		
接続先	[APIリクエスト用コネクション] *[コネクション設定(HULFT Square側)]参照	
パス	/zgtcp/client/send	
エンコード	UTF-8	
クエリパラメータ	名前	値
リクエスト設定		
データ出力先	データ	
データ形式	JSON	
リクエストテンプレート	<pre>{ "transmissions": [{ "connectionName": "string", "fileNames": ["string"], "resend": true }] }</pre>	
レスポンス設定		
データ出力先	データ	
データ形式	JSON	
レスポンステンプレート	<pre>{ "code": 0, "message": "string", "succeeded": [{ "transactionId": "string", "code": 0, "message": "string", "connectionId": "string", "connectionName": "string", "transactions": [{ "transactionId": "string", "code": 0, "message": "string", "fileId": "string", "fileName": "string" }] }], "failed": [{ "connectionName": "string", "fileNames": ["string"], "resend": true, "code": 0, "message": "string" }] }</pre>	
レスポンスのステータスコードが4XX、5XXの場合エラーにする	有効	
ヘッダ設定		
リクエストヘッダ	名前	値
	Content-Type	application/json
	X-Tenant-Id	スクリプト変数[LC_tenantId]
	Authorization	スクリプト変数[L_idToken]

コンポーネント名		
set_transmissionId		
 set_transmissionId		
コンポーネント概要		
発信送信要求の通信IDをマッピング		
HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
単一行文字列定数	array	send_result_zgtcp/root/transmissionIds/type
send_zgtcp/root/succeeded/element/transmissionId	単純移送	send_result_zgtcp/root/transmissionIds/element
単一行文字列定数	20	スクリプト変数[L_code]

コンポーネント名	
loop2	
 loop_2	
コンポーネント概要	
通信処理状態コードが「処理待ち」または「処理中」の場合繰り返し	
必須設定	
条件一覧	スクリプト変数[L_code]が「10」と等しい
条件一覧	スクリプト変数[L_code]が「20」と等しい
条件式	スクリプト変数[L_code]が「10」と等しい または スクリプト変数[L_code]が「20」と等しい

コンポーネント名	
send_result_zgtcp	
 send_result_zgtcp	
コンポーネント概要	
全銀TCP/IPの発信送信処理の結果を取得	
必須設定	
接続先	[APIリクエスト用コネクション] *[コネクション設定(HULFT Square側)]参照
パス	/zgtcp/client/send/results
エンコード	UTF-8
クエリパラメータ	名前 値
リクエスト設定	
データ出力先	データ
データ形式	JSON
リクエストテンプレート	<pre>{ "transmissionIds": ["string"] }</pre>
レスポンス設定	
データ出力先	データ
データ形式	JSON
レスポンステンプレート	<pre>{ "code": 0, "message": "string", "succeeded": [{ "transmissionId": "string", "code": 0, "message": "string", "connectionId": "string", "connectionName": "string", "transactions": [{ "transactionId": "string", "code": 0, "message": "string", "fileId": "string", "fileName": "string" }] }], "failed": [{ "transmissionId": "string", "message": "string" }] }</pre>
レスポンスのステータスコードが4XX、5XXの場合エラーにする	有効
ヘッダ設定	
リクエストヘッダ	名前 値
	Content-Type application/json
	X-Tenant-Id スクリプト変数[LC_tenantId]
	Authorization スクリプト変数[L_idToken]

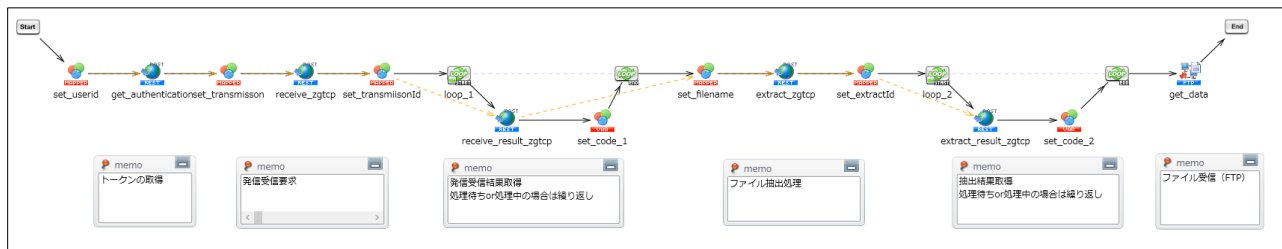
コンポーネント名		
set_code2		
 set_code_2		
コンポーネント概要		
通信処理状態コードをスクリプト変数[L_code]へセット		
HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
send_result_zgtcp/root/code	単純移送	スクリプト変数[L_code]

スクリプト利用手順

1. 「コネクション設定(EDI-Master Cloud 全銀TCP/IP通信側)」を設定する
2. 「コネクション設定(HULFT Square側)」を設定する
3. 本アプリケーションをインストールする
4. スクリプト変数の初期値を設定する
5. コンポーネント「put_data」「get_authentication」「store_zgtcp」「store_result_zgtcp」「send_zgtcp」「send_result_zgtcp」の接続先を設定する
6. スクリプトを実行する

EDI-Master Cloud 全銀TCP/IP通信向けHULFT Squareアプリケーション
 スクリプト設定(EDI-Master Cloud_recieve_zgtcp)

スクリプト全体図



スクリプト動作概要

取引先からEDI-Master Cloud へのファイル受信要求を発行し、EDI-Master Cloud へ受信が完了したファイルをHULFT Squareへ連携します。

*以下設定のオレンジ色の設定箇所は、スクリプトをインストールするだけでは設定されないため、スクリプトをインストール後に手動で入力する必要がある

スクリプト基本設定

ワークスペース	任意
格納プロジェクト名	EDI-Master Cloud
スクリプト名	EDI-Master Cloud_recieve_zgtcp


外部システムから取り込む値/ファイル


なし	なし
----	----


スクリプト変数


LC_tenantId	EDI-Master Cloud のテナントIDの格納先、初期値として設定
LC_userId	EDI-Master Cloud のユーザーIDの格納先、初期値として設定
LC_password	EDI-Master Cloud のユーザー認証用パスワード初期値として設定
LC_connectionName	プロトコル=「全銀TCP/IP」、発信/着信=「発信」の接続先定義名を初期値として設定
LC_fileNames	上記接続先の「ファイル一覧」より、送信/受信=「受信」のファイル定義名を初期値として設定
LC_outputFolderPath	「ファイル定義」より、抽出ファイルパスを初期値として設定
LC_outputFileName	「ファイル定義」より、抽出ファイル名を初期値として設定
L_idToken	取得したアクセストークンの格納先
L_code	通信処理状態コード
LC_localPath	HULFT Squareの格納ファイルパスを設定、初期値として設定

スクリプト詳細設定


コンポーネント名		
set_user_id 		
コンポーネント概要		
ユーザーID、パスワード、テナントIDをマッピング		
HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
スクリプト変数[LC_tenantId]	単純移送	get_authentication/root/tenantId
スクリプト変数[LC_userId]	単純移送	get_authentication/root/userId
スクリプト変数[LC_password]	単純移送	get_authentication/root/password


コンポーネント名		
get_authentication 		
コンポーネント概要		
認証用トークンを取得		
必須設定		
接続先	[APIリクエスト用コネクション] *[コネクション設定(HULFT Square側)]参照	
パス	/operation/auth	
エンコード	UTF-8	
クエリパラメータ	名前	値
リクエスト設定		
データ出力先	データ	
データ形式	JSON	
リクエストテンプレート	<pre>{ "tenantId": "tenantId", "userId": "userId", "password": "password" }</pre>	
レスポンス設定		
データ出力先	データ	
データ形式	JSON	
レスポンステンプレート	<pre>{ "tenantId": "テナントID", "tenantName": "テナント名", "userId": "ユーザID", "userName": "ユーザ名", "group": "グループ", "tokens": { "IdToken": "IDトークン", "RefreshToken": "RefreshToken", "ExpiresIn": 3600 } }</pre>	
レスポンスのステータスコードが4XX、5XXの場合エラーにする	有効	
ヘッダ設定		
リクエストヘッダ	名前	値
	Content-Type	application/json
	X-Tenant-Id	スクリプト変数[LC_tenantId]


コンポーネント名		
set_transmisson 		
コンポーネント概要		
発信受信対象とするトランザクションをマッピング		
HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
単一行文字列定数	array	receive_zgtcp/root/transmissons/type
単一行文字列定数	object	receive_zgtcp/root/transmissons/element/type
スクリプト変数[LC_connectionName]	単純移送	receive_zgtcp/root/transmissons/element/connectionName
単一行文字列定数	array	recive_zgtcp/root/transmissons/element/fileNames/type
スクリプト変数[LC_fileNames]	単純移送	recive_zgtcp/root/transmissons/element/fileNames/element
単一行文字列定数	boolean	recive_zgtcp/root/transmissons/element/rerecv/type
get_authentication/root/idToken	単純移送	スクリプト変数[L_idToken]


コンポーネント名		
receive_zgtcp		
		
コンポーネント概要		
全銀TCP/IPの発信受信処理を要求		
必須設定		
接続先	[APIリクエスト用コネクション] *[コネクション設定(HULFT Square側)]参照	
パス	/zgtcp/client/receive	
エンコード	UTF-8	
クエリパラメータ	名前	値
リクエスト設定		
データ出力先	データ	
データ形式	JSON	
リクエストテンプレート	<pre>{ "transmissions": [{ "connectionName": "string", "fileNames": ["string"], "rerecv": true }] }</pre>	
レスポンス設定		
データ出力先	データ	
データ形式	JSON	
レスポンステンプレート	<pre>{ "code": 0, "message": "string", "succeeded": [{ "transmissionId": "string", "code": 0, "message": "string", "connectionId": "string", "connectionName": "string", "transactions": [{ "transactionId": "string", "code": 0, "message": "string", "fileId": "string", "fileName": "string" }] }], "failed": [{ "connectionName": "string", "fileNames": ["string"], "rerecv": true, "code": 0, "message": "string" }] }</pre>	
レスポンスのステータスコードが4XX、5XXの場合エラーにする	有効	
ヘッダ設定		
リクエストヘッダ	名前	値
	Content-Type	application/json
	X-Tenant-Id	スクリプト変数[LC_tenantId]
	Authorization	スクリプト変数[L_idToken]


コンポーネント名		
set_transmissionId		
		
コンポーネント概要		
発信受信要求の通信IDをマッピング		
HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
単一行文字列定数	array	receive_result_zgtcp/root/transmissionIds/type
receive_zgtcp/root/succeeded/element/transmissionId	単純移送	receive_result_zgtcp/root/transmissionIds/element
単一行文字列定数	20	スクリプト変数[L_code]

コンポーネント名	
loop1	
	
コンポーネント概要	
通信処理状態コードが「処理待ち」または「処理中」の場合繰り返し	
必須設定	
条件一覧	スクリプト変数[L_code]が「10」と等しい
条件一覧	スクリプト変数[L_code]が「20」と等しい
条件式	スクリプト変数[L_code]が「10」と等しい または スクリプト変数[L_code]が「20」と等しい


コンポーネント名	
receive_result_zgtcp	
	
コンポーネント概要	
全銀TCP/IPの発信受信処理の結果を取得	
必須設定	
接続先	[APIリクエスト用コネクション] *[コネクション設定(HULFT Square側)]参照
パス	/zgtcp/client/receive/results
エンコード	UTF-8
クエリパラメータ	名前 値
リクエスト設定	
データ出力先	データ
データ形式	JSON
リクエストテンプレート	<pre>{ "transmissionIds": ["string"] }</pre>
レスポンス設定	
データ出力先	データ
データ形式	JSON
レスポンステンプレート	<pre>{ "code": 0, "message": "string", "succeeded": [{ "transmissionId": "string", "code": 0, "message": "string", "connectionId": "string", "connectionName": "string", "transactions": [{ "transactionId": "string", "code": 0, "message": "string", "fileId": "string", "fileName": "string" }] }], "failed": [{ "transmissionId": "string", "message": "string" }] }</pre>
レスポンスのステータスコードが4XX、5XXの場合エラーにする	有効
ヘッダ設定	
リクエストヘッダ	名前 値
	Content-Type application/json
	X-Tenant-Id スクリプト変数[LC_tenantId]
	Authorization スクリプト変数[L_idToken]


コンポーネント名		
set_code1		
 set_code_1		
コンポーネント概要		
通信処理状態コードをスクリプト変数[L_code]へセット		
HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
receive_result_zgtcp/root/code	単純移送	スクリプト変数[L_code]



コンポーネント名		
set_filename		
 set_filename		
コンポーネント概要		
接続先定義、ファイル定義をマッピング		
HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
単一行文字列定数	object	extract_zgtcp/root/type
単一行文字列定数	array	extract_zgtcp/root/transactions/type
単一行文字列定数	object	extract_zgtcp/root/transactions/element/type
スクリプト変数[LC_connectionName]	単純移送	extract_zgtcp/root/transactions/element/connectionName
スクリプト変数[LC_fileNames]	単純移送	extract_zgtcp/root/transactions/element/fileName
スクリプト変数[LC_outputFolderPath]	単純移送	extract_zgtcp/root/transactions/element/outputFolderPath
スクリプト変数[LC_outputFileName]	単純移送	extract_zgtcp/root/transactions/element/outputFileName

コンポーネント名		
extract_zgtcp		
		
コンポーネント概要		
受信データとして確定したファイルを抽出		
必須設定		
接続先	[APIリクエスト用コネクション] *[コネクション設定(HULFT Square側)]参照	
パス	/zgtcp/transactions/extract	
エンコード	UTF-8	
クエリパラメータ	名前	値
リクエスト設定		
データ出力先	データ	
データ形式	JSON	
リクエストテンプレート	<pre>{ "transactions": [{ "connectionName": "全銀TCP/IP接続先定義", "fileName": "受信ファイル定義", "outputFolderPath": "date/receive", "outputFileName": "receive.txt" }] }</pre>	
レスポンス設定		
データ出力先	データ	
データ形式	JSON	
レスポンステンプレート	<pre>{ "code": 0, "message": "string", "succeeded": [{ "extractId": "string", "transactionId": "string", "connectionName": "string", "fileName": "string", "outputFolderPath": "string", "outputFileName": "string" }], "failed": [{ "transactionId": "string", "outputFolderPath": "string", "outputFileName": "string", "code": 0, "message": "string" }] }</pre>	
レスポンスのステータスコードが4XX、5XXの場合エラーにする	有効	
ヘッダ設定		
リクエストヘッダ	名前	値
	Content-Type	application/json
	X-Tenant-Id	スクリプト変数[LC_tenantId]
	Authorization	スクリプト変数[L_idToken]

コンポーネント名		
set_extractId		
		
コンポーネント概要		
抽出IDをマッピング		
HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
単一行文字列定数	array	extract_result_zgtcp/root/extractIds/type
extract_zgtcp/root/succeeded/element/extractId	単純移送	extract_result_zgtcp/root/extractIds/element
単一行文字列定数	20	スクリプト変数[L_code]

コンポーネント名		
loop2		
		
コンポーネント概要		
通信処理状態コードが「処理待ち」または「処理中」の場合繰り返し		
必須設定		
条件一覧	スクリプト変数[L_code]が「10」と等しい	
条件一覧	スクリプト変数[L_code]が「20」と等しい	
条件式	スクリプト変数[L_code]が「10」と等しい または スクリプト変数[L_code]が「20」と等しい	

コンポーネント名		
extract_result_zgtcp		
		
コンポーネント概要		
抽出結果を取得		
必須設定		
接続先	[APIリクエスト用コネクション] *[コネクション設定(HULFT Square側)]参照	
パス	/zgtcp/transactions/extract/results	
エンコード	UTF-8	
クエリパラメータ	名前	値
リクエスト設定		
データ出力先	データ	
データ形式	JSON	
リクエストテンプレート	<pre>{ "extractIds": ["string"] }</pre>	
レスポンス設定		
データ出力先	データ	
データ形式	JSON	
レスポンステンプレート	<pre>{ "code": 0, "message": "string", "succeeded": [{ "extractId": "string", "transactionId": "string", "connectionId": "string", "connectionName": "string", "fileId": "string", "fileName": "string", "code": 0, "message": "string", "startTime": "string", "endTime": "string" }], "failed": [{ "extractId": "string", "message": "string" }] }</pre>	
レスポンスのステータスコードが4XX、5XXの場合エラーにする	有効	
ヘッダ設定		
リクエストヘッダ	名前	値
	Content-Type	application/json
	X-Tenant-Id	スクリプト変数[LC_tenantId]
	Authorization	スクリプト変数[L_idToken]

コンポーネント名		
set_code2		
 set_code_2		
コンポーネント概要		
通信処理状態コードをスクリプト変数[L_code]へセット		
HULFT Square mapper エディタ		
入力元 (入力データ)	マッピングツール(値)	出力先 (出力データ)
extract_result_zgtcp/root/code	単純移送	スクリプト変数[L_code]
コンポーネント名		
get_data		
 get_data		
コンポーネント概要		
EDI-Master Cloud からファイル受信		
必須設定		
接続先	[ファイル送受信用コネクション] *[コネクション設定(HULFT Square側)]参照	
リモートパス	スクリプト変数[LC_outputFolderPath]/スクリプト変数[LC_outputFileName]	
ローカルパス	スクリプト変数[LC_localPath]	
データタイプ	BYNARY	

スクリプト利用手順

1. 「コネクション設定(EDI-Master Cloud 全銀TCP/IP通信側)」を設定する
2. 「コネクション設定(HULFT Square側)」を設定する
3. 本アプリケーションをインストールする
4. スクリプト変数の初期値を設定する
5. コンポーネント「get_authentication」「extract_zgtcp」「extract_result_zgtcp」「recieve_zgtcp」「recieve_result_zgtcp」「get_data」の接続先を設定する
6. スクリプトを実行する